

		EZ-WIN総合評価シート			23.11.5 (日) 東京11R G2アルゼンチン共和国杯 芝2500B 3歳上ハンデ 15:35																			
間隔	総合評価点数	予想印	枠番	馬番	馬名	性齢	負担重量	予想人気	相対指数	注目血統	最終調教評価	馬喰調教評価	脚質前走	脚質2前	脚質3前	血統・人気複率	血統複勝回収値	前距離複率	騎手	調教師	前走不利	東京24~実績	マイニング	M対戦型
48	49	○	1	1	栗)ブリュムドール	牝5	54	10	A	注		A	5,2	7,1	6,8	16	121	0	岩田康	奥村豊		C	7	14
8	42		1	2	栗)レッドバリエンテ	牡4	55	8	B				10,1	8,5	6,1	14	94	9	永野猛	中内田			5	7
27	20	注	2	3	美)ヒュミドール	セ7	56	14	C	注	D		10,7	4,2	16,9	0	63	0	津村明	小手川	R	B	16	12
4	55	◎	2	4	美)チャックナイト	セ5	56	2	A	血		A	7,4	6,3	4,1	31	116	18	大野拓	堀宣行		A	4	4
7	39		3	5	栗)アーティット	牡4	57	6	A				3,6	3,12	2,2	14	94	9	菅原明	友道康	展		12	6
4	37		3	6	栗)アフリカゴールド	セ8	58	18	B	注		B	1,7	2,13	1,16	9	171	0	国分恭	西園正		C	14	18
3	46		4	7	栗)セファーラジェル	牡5	56	16	B		C		5,13	8,13	2,5	14	278	0	松岡正	高柳大	R		11	15
23	7		4	8	栗)アリストテレス	牡6	57	15					7,17	8,11	12,5	6	69	0	内田博	上村洋	展		9	17
6	46	×	5	9	栗)ゼッフィーロ	牡4	57	1	A		C+	B	7,1	16,1	11,1	41	76	50	J. モ	池江泰			2	2
9	24	×	5	10	栗)ジャンカズマ	牡5	54	13	B	☆		B	3,4	10,15	14,5	14	68	0	小沢大	小栗			6	11
9	34	★	6	11	美)グランオフィシエ	牡5	57	7	B				10,8	11,11	5,2	9	74	9	北村宏	久保田		A	18	9
49	43	×	6	12	美)ハーツイストワール	牡7	57	9		血	D+		2,13	9,6	3,3	8	121	9	田辺裕	国枝栄	R	A	15	8
23	42	×	7	13	栗)ディアスティマ	牡6	58	4	B				1,7	6,7	2,6	24	88	0	北村友	高野友		B	10	10
4	31	▲	7	14	栗)ヒートオンビート	牡6	59	5	B		D		8,9	10,3	6,6	9	74	9	石川裕	友道康	R	A	1	5
9	21		7	15	栗)ユーキャンスマイル	牡8	58	12	C				12,2	12,4	8,7	9	74	9	石橋脩	友道康		C	3	3
49	25		8	16	栗)テーオーロイヤル	牡5	59	11					3,15	4,10	4,5	5	28	9	浜中俊	岡田福	展	B	17	16
4	55	×	8	17	栗)マイネルウィルトス	牡7	57	3		注	C+	B	13,1	10,5	16,1	33	126	18	横山武	宮徹	展	A	13	1
6	22		8	18	美)アサマノイタズラ	牡5	56	17					14,13	16,11	18,2	0	63	0	柴田善	手塚貴			8	13

アルゼンチン共和国杯の鬼門血統は、
「父:ディーピンパクト」

過去5年どころか、10年さかのぼっても
馬券に絡んだのはソールインパクト1頭のみ。
(出走数は24頭。5人気以内も8頭が全滅)

逆に、ノーザンテーストの血を持つ種牡馬、
ステイゴールド系とスクリーンヒーロー(ロベルト系)
ダイワメジャー。

トニービンを持つ種牡馬、
ハーツクライとルーラーシップ、アドマイヤドン。
直仔産駒はおりませんがアドマイヤベガにも要注意。

これらの種牡馬産駒が、過去10年で15頭の馬券絡み。

また、母父にロベルト系を持つ馬が、
過去10年で22頭が出走し、8頭が馬券絡み。
複勝率36.4% 複回率106%

以上の事からうかがえるのは、

好走血統の傾向が、宝塚記念に似ているという事。

直線の切れ味に特化したディープが走れず、
持久力・底力を強化された馬が走りやすい
「非根幹距離重賞」らしい傾向が見受けられます。

【アルゼンチン共和国杯の注目血統】

- ・母父がロベルト系
- ・トニービンの血を保持
- ・ノーザンテーストの血を保持
- ・ニジンスキーの血を保持する馬にも注目。

【脚質傾向】

4角10番手以下からの馬券絡みは2頭のみ。

中団より前で競馬が出来て、
バテない持久力を補完する「注目血統」を持つ馬。
と言うのが、馬選びの重要なファクターになりそうです。

【距離ローテ】

過去5年の3着以内馬15頭の内、
11頭は「今回距離延長」となるローテでの参戦でした。

【キャリア】

六社S(3勝)東京2400mで馬券に絡んだ馬、
東京2400m以上の重賞好走馬に注目です。

◎4番チャクネイト

父:ハーツクライ(Tサンデー系)

父母父:トニービン(欧グレイソヴリン系)

母父:ダイナフォーマー(欧ロベルト系)

祖母父:キングマンボ(欧ミスプロ系)

前走で六社Sを勝つての参戦は、
3勝クラスからの昇級戦では最強ローテになります。

毎回、中団より前で競馬が出来ており、
好走傾向の全てに合致する存在でございます。

上位人気のゼツフィーロとディアスティマの2頭がともに、
当レースの鬼門血統であるディーパインパクト産駒。

また、コース実績上位馬が7歳以上の高齢馬。
(7歳を超えると、信頼度が一気に低下するレースです)

という事からも、この馬が本命にふさわしいと考えます。

あまり大きな波乱は望みにくいレースですが、
血統と年齢の傾向が当てはまるようなら
今年は少し荒れるかも知れませぬな。

○1番プリュムドール

父:ゴールドシップ(ノーザンテースト持ち)

母父:フレンチデピュティ(米ヴァイスリージェント系)

祖母父:欧ニジンスキー系

曾祖母父(欧グレイソヴリン系)

ステイゴールド系の父とニジンスキー、
グレイソヴリンの血を持つ配合馬でございますな。

中山向きのイメージもございますが、

東京2400mで2勝クラスを卒業しており、
最内枠で岩田父殿の騎乗。

今回は長欠明けになりますが、
長距離戦でG1好走馬を0秒1差まで追い詰める
男勝りの心肺機能で、好位からの流れ込みを。

▲14番ヒートオンビート

父:キングカメハメハ

母父:ディープインパクト

祖母父:マルジュ(欧ノーザンダンサー系)

半兄ラストドラフト共々、当レース好走実績馬。
また、本馬は目黒記念でも2度馬券に絡んでおり
コース成績は【1・1・1・0/3】

当コース重賞実績馬の中で唯一の6歳馬。

血統からの推し材料は少ないですが
実績を考慮すれば、ハンデ59キロでも
これ以上印を下げる訳に行かぬ存在でございますな。

★11番グランオフィシエ

父:キングカメハメハ

母父:ダイワメジャー(ノーザンテースト持ち)

祖母父:エリシオ(欧フェアリーキング系)

血統面での大きな押し材料はございませんが、
本馬は「外回り2200m以上」でマイ注目馬登録。

長く2000m以下に使われておりましたが、
外回りの2200m以上では2戦2勝。

また、左回りが得意なので、
未知の距離2500mで、世間様の「マジすか！」
と言う阿鼻叫喚を聞かせて頂きたいと妄想(誇大)。

注3番ヒュミドール

父:オルフェーヴル(ステイゴールド系)

母父:チチカステナンゴ(欧グレイソヴリン系)

祖母父:アドマイヤベガ(トニービン持ち)

ノーザンテーストの4×4クロスを保持

当レースの好走血統の詰め合わせで、
東京3400mで重賞2着の実績。

既に7歳ですが、老化速度が緩やかなセン馬で、
ハンデ56キロなら「6歳牡馬と同じ扱いでもいいよね」と。

決して長距離だけのステイヤーではなく
東京1800mで3勝クラスを卒業し、
2000m重賞で2度の2着と、スピードが無い
と言う訳ではありません。

休み明けでも、軽度の骨折が理由で、
昔から「骨は買い。スジは見(ケン=見送り)」
と言う格言もございますれば、結構期待しております。

【馬券】

EZ-WIN 推奨馬券

馬連・ワイド・3連複「3頭ボックス」

1番・4番・17番

くまもん馬券

ワイドフォーメーション5点

1・4-1・3・4・11

馬連 4-1・3・11・14

3連複フォーメーション26点

4-1・3・11・14-印全頭